

年齢	56	歳	性別		男	○	女	初診	1989.4.19	作成日	2016.11.6
主訴	咳喘（支気管哮喘）5年余り										
病史	5年前感冒に罹り、咳嗽、咽痛が長引いて治らず、暫くして咳喘になった。その後感冒の度に、体を冷したり、タバコの煙等の刺激性のものに接すると哮喘の大発作を起こし、甚だしい場合は昼夜共に止むことがなく、横になっていることもできず、呼吸困難、口唇が青紫になるが、西洋薬を用いると緩解する。ここ3年くらいは、冬夏を問わず、年中咳喘が止まない。時に重くなったり軽くなったりする。中国薬や西洋薬を使って治療するが、明らかな効果が見られない。										
現病歴	近日来大発作が起こり、肩呼吸、胸悶、納差があり、動くと気短汗出、四肢無力、便溏、咽干がある。										
四診所見 (検査)	【望診・聞診・問診・切診】 ①面色は灰暗で浮腫状態⇒ ②喘促気短⇒ ③精神不振⇒ ④心拍数 98 回/分⇒ ⑤両肺に干濁音⇒ ⑥哮鳴音⇒										
舌診	①舌苔薄白、滑潤 ②舌淡、体胖										
脉診	①脉沈細 ②無力										
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】										
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】										
病性弁証											

病性弁証 (続き)	
病因弁証	
病 機	
証 名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義	
伝 変	
按 語	